うきしま

第42号
平成21年12月18日
PTA広報部

■競技大会報告

八月十四日(金)～十六日(日)に全国高等学校定時制通信制陸上競技大会が、東京国立競技場で開催され、本校からは、四年生の野瀬光さんが出場しました。野瀬さんは全国大会に四年連続の出場で、一年の時は、三位、二年生は二位、三年生では三位、そして、高校生活最後となる本年度は、優勝という素晴らしい結果を残してくれました。

その他九月十九日(土)に両丹高校定時制通信制総合体育大会が福知山高校中心に実施され、本校バドミントン部の堀田(三年)・前田(一年)ペアが準優勝しました。

■生活体験発表会

九月二十五日(木)に京都市のルビノ堀川にて、平成二十一年度の生活体験発表会が実施されました。本校からは新宮佑佳さん(四年)が代表で出場しました。「自分探しの旅」という題で見事な発表でした。(本年度、奨励賞受賞)

■各学年より

一年担任　山本彰治

月日の経つのは早いもので入学から早八ヶ月が経ち、気がつけば師走に突入しました。

一年生は、一学期の終わりで十八名から十六名になり、二学期の終わりにはさらに転学などで三名が減り、現在は十三名です。しかしながら一学期同様に休みが多い生徒や中抜けなどにより、単位修得が厳しくなる生徒も出始めています。一学期と同様に各家庭におかれましても、最優先で授業に出席するようにご指導のほどよろしくお願いします。

さて、二学期は二つの大きな行事がありました。一つは十月に行われた遠足です。今年は神戸のハーバーランド周辺での自由散策でしたが、あいにくの雨模様でしたが、女生徒は百貨店やショップなどでの買い物が中心で、三宮近辺まで足をのばしていたみたいです。

男子もそれぞれ気のあった者どうしでの散策を楽しんでいました。学校とはまた違った楽しそうな、生き生きとした顔をしていたのが印象的でした。

もう一つは十一月に行われた文化祭です。一年生は初めてということもありなかなか意見が出ず、歌を歌おうということになり、昔のフォークグループ(フォークルセダーズ)の曲を二曲選び練習して歌いました。古き良き時代の曲を知ってもらい、また生徒たちに次の時代へ伝えていってもらえればという担任の願いからです。

曲の知らない生徒もいましたが、文句も言わず頑張って練習してくれた生徒には本当に感謝しています。本番には二名の生徒が開演直前に舞台に立たず残念な思いでした。

本番は担任が音を外してしまい一番迷惑をかけ、申し訳ないと思っています。

全体としては合唱でしたが、その他にクラスの有志一同でバンド演奏を一曲披露してくれました。

経験者は一名で後の三名は全くの初心者でしたが、早くから学校に来て練習に取り組み頑張っていました。技術的にはまだまだですが、中学の時には不登校であった生徒が、大勢の観客の中で堂々と演奏する姿を見て、すごく成長したなと思い担任としてうれしく思います。

来年はもっとさらなる練習をして素晴らしい演奏を期待したいです。また全体としても担任主体ではなく生徒主体で文化

祭に取り組むことを期待しています。本年もあと少しで終わりですが、来年も生徒や保護者の皆様にとってよき年になりますように願いまして終わりにしたいと思います。

二年担任　浪江大輔

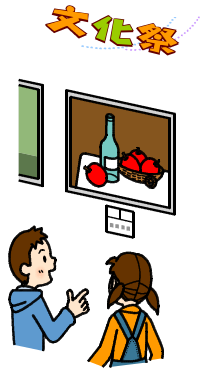
暑かった二学期はじめの頃と比べると随分涼しくなってきました。二学期は十月にバス遠足、十一月には文化祭がありました。バス遠足では悪天候の中、神戸の街を散策し買い物や移動のバスの中でのおしゃべり、レクリエーションを楽しみ学年を超えて親交が深まりました。文化祭では、生徒が初めて立案から企画・運営をこなして出し物を決め、恥ずかしがりながらも全員でステージに上がり紙芝居をしました。正直、生徒たちがこんなに直向に絵を描いたり台本の読み合わせをする姿をはじめて目の当たりにし、一年間の成長に感動しました。結果的に皆さんに満足してもらえる作品にはならなかったかもしれませんが、みんなで協力するということを経験した彼らは、来年はやってくれると思います。

一方、バザーの海軍カレーも大成功を収め、それぞれに達成感がありました。今後も成長を続け、あと二年あまり頑張ってほしいと思います。

好評だった海軍カレー

三年担任　余田翔太

二学期は、学校以外に職場で多くの人と接する機会のある生徒もおり、新型インフルエンザの流行を心配しましたが、三年生は幸いにも体調を崩したのは数名で、ほとんどの生徒が元気に登校できました。神戸へのバス遠足では、学校外の場所で学年を問わず楽しく過ごせました。生徒はきちんと集合時間を守って行動することができ、観光や買い物だけが目的ではなく、団体行動の大切さや難しさを学びました。また、今回の文化祭の「紙芝居」では、「何でもいいので必ず一人一つの役割が有り、最後まで責任を持って参加する」が目標でした。生徒は下書きの段階から「面倒くさい」と言いながら作業をしていました。しかし、色塗り・色砂貼りと進むにつれ、「どうやったらキレイにできるやろ？」、「私の方が上手やし」と色々相談して最後まで丁寧に取り組めました。当日の発表も、生徒は人前で話すことには慣れておらず緊張したと思いますが、精一杯できたのではないでしょうか。来年の文化祭は今回よりももっと積極的に自分達で取り組み、自分達の力で成功させてほしいです。二学期当初から授業中は落ち着きがなく注意されることが多いので、文化祭の取組中に学んだ「やる時はしっかりやる」という気持ちを学校生活に少しでも活かして、三学期に臨むことを期待しています。



四年担任　森脇尚志

あっという間に今年も年の瀬となり、慌ただしい日々となりました。とりわけ四年生の諸君は、いよいよ高校生活との別れの春が目前に迫っているとあって、落ち着かないのではないでしょうか。最終学年の二学期末というのは、いずれの学校にあっても何か淋しく、切なく、また人恋しく、哀愁が漂っていたりするものです。

その上厳しい世の中です。来春からの新しい道を各人がどのように歩んでいくのかを思うとき、必ずしも夢や希望が満面の笑みで待ってくれているのではない、という現実が胸に突き刺さってきます。しかしこれが今のこの国の有り様なのです。逃げるわけにはいきません。四年生諸君の、正に自分をチェンジするという気概と勇気に期待するほかありません。保護者の皆さんも、お子さん自らの「育ち直り」を人生の大先輩として、温かく見守ってほしいと思います。

今、自己チェンジするには苦しいでしょう。でも今のままの「自分」では将来

更に苦しいチェンジの必要性が生じてくることは必定です。この時期こそ、その自覚を持つことがまず大切なのです。今こそ強引に己れ自身に働きかけ、捨てるべき物はさっさと捨て、甘露な依存心とは決別し、「自己責任が全て」という大人への変化の兆しを見つけてください。

君たちが過ごしてきた「浮島」での生活は、今どのように君の中で「意義付け」されているでしょうか。「浮島」でしか通用しないような、ある意味自分勝手で偏狭な常識に、もしアグラをかいているのなら、それは禍根となって近い将来必ず君を苦しめます。その時にはもう、チェンジの機会は無い、と思ってください。

人生には必ずターニングポイントというべき節目がありません。その節目が正に今のこの時期なのです。人間はその気にさえなれば、飛躍的に変われます。周りの人が思わず刮目するような、そんな変化も可能です。これから卒業までの日々を、ぜひそのための期間にしてください。そして大人への脱皮を図ってください。それが担任としての最大の願いであり、そのように努力してくれるであろうことに対する期待なのです。

ここからが本当の勝負、という言葉を最後に付言して終えます。

4年生の演劇

■進路指導部

部長　桝本修作

四年生の進路決定状況をお知らせします。

卒業予定者十三名中、学校紹介就職内定者三名（来年四月一日より正社員として勤めます。就業予定場所は舞鶴市一名、京都市二名）、継続就職等八名、進学希望者二名です。特に、今年は求人数が激減する中、学校紹介就職が著しく難化しました。その中で、浮島分校の生徒諸君は非常に健闘してくれました。また、今現在も何人かの生徒諸君はさらに条件のよい職場を探し努力しています。

次年度以降も就職試験の難しさは継続すると思います。

そこで、紙面を借りて、浮島分校ではどんな進路指導（就職指導）をしているのか、生徒諸君はどんな力をつければ合格できるのかを示したいと思います。

≪浮島分校の進路指導≫

①四月上旬　進路希望調査

②四月二十二日　第1回進路ガイダンス（進路日程、提出書類の説明）

③六月中下旬　第2回進路ガイダンス（面接指導・履歴書指導）

④七月一日　求人票受付開始

⑤七月十日　第3回進路ガイダンス（第1回求人票配布・求人票の見方）

⑥七月十七日　第4回進路ガイダンス（第2回求人票配布）

⑦夏季　第3回・第4回求人票配布

⑧七月二十一～二十四日　進路四者面談（受験希望先企業の検討）・夏季就職試験対策講習

⑨七月下旬～　受験希望先企業見学

⑩八月二十一日　就職受験先の決定

⑪八月二十五～二十七日模擬面接

⑫八月三十一日就職応募書類提出〆切り

⑬九月四日　就職応募書類提出（書留速達）

⑭九月九日　模擬面接（最終）

⑮九月十六日　就職試験開始以上が今年の就職指導概略です。進学指導も並行して同様に実施しています。詳しい内容については別の機会に紹介したいと思います。

≪生徒諸君が合格するための三つのポイント≫

①進路指導をきっちり受けること。

②努力をすること

③真面目であること

真面目で努力すれば、目標は必ず達成できます。一緒にがんばりましょう。

なお、十二月十一日の全学年人権学習で鑑賞した「まっすぐに智華子」はちょうど≪努力をすること≫が目標達成の唯一の方法であることを教えてくれました。

■ 生徒指導部

部長　髙橋光重

二学期には、バス遠足が行われました。ことしは、神戸ハーバーランドとその周辺の三ノ宮や中華街散策でした。雨が降ったのは少し残念でしたが、生徒諸君は楽しく時間を過ごしていました。

今年は体育館の耐震工事の関係で体育祭は実施できませんでした。文化祭は例年より少し遅れましたが実施することができました。学年の発表では、一年は合唱と楽器演奏、二年と三年は紙芝居、四年は演劇「オズの魔法使い」に取り組みました。特別出演では和太鼓演奏、琴の演奏の他、空手の瓦割り実演が加わり、昨年同様多彩な文化祭発表となり、大いに楽しむことができました。また、模擬店では二年生のカレーライスとPTAの皆様のぜんざい、おでんでしたが、大変おいしいと好評でした。二年生の諸君、PTAの皆様、どうもありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いします。

平成二十一年度後期生徒会本部役員には、会長に堀田治君（三年）、副会長に朝倉滝大君（一年）、書記に下西元明君（一年）、会計に吉川匠君（一年）、議長に田村裕太君（一年）が立候補してくれ、全員が会員の信任を受けて就任しました。今後の活躍を期待しています。

今年は、千葉大学生や島根県立大学生殺害事件が世間を騒がせています。本校においても昨年度のような不幸な事件が二度と起こらないことを願っています。そのためには、夜間の外出は必要な用事以外はできるだけ控えてほしいと思います。また、事件や事故に遭わないように気をつけることもに、危ない所に自ら近づいたり、危険な状況に身をさらさないように心がけてほしいと思います。

改修が終わった体育館と渡り廊下

■ 保健部

部長　浪江大輔

二学期の半ばから流行したインフルエンザはいまだに衰えることなく猛威を振るっています。この流行は三学期も続くと思われ、また季節性インフルエンザとあわせると二度、三度と感染する人も出てきます。暖かくしてしっかり栄養をとり、手洗いやうがいで感染を防ぎ、元気に生活しましょう。

麻疹やインフルエンザの予防接種を受けた後は一定期間、他の予防接種が受けられませんので注意が必要です。特に今年度麻疹の予防接種を受ける人はそれを医療機関で確認のうえ、計画的に予防接種を受けてください。

☆ 報告

始めの各大会報告にも記述しましたが、四年生の野瀬光さん（四年生）が、本年度の京都新聞社ジュニアスポーツ賞に選ばれ、表彰されました。

＝＝編集後記＝＝

PTA広報部　藤田厚司

このごろは、元気な世の中に…、と願うばかりです。文化祭の模擬店ご協力ありがとうございました。皆様、良いお年をお迎えください。

模擬店の様子

＝＝ 今後の予定 ＝＝

12月21日～25日	補充・補習
28日（月）	仕事納め
1月 4日（月）	仕事始め
8日（金）	始業式
13日（水）	カルタ大会
26日～29日	4年生学年末考査